

第3回市民啓発部会を開催しました



○1月16日（月）に第3回市民啓発部会を
久々に一堂に会して開催しました。参加者
は、部会員7人、上越地域在宅医療推進セ
ンター2人、事務局4人でした。

○今回の議題

リーフレットを配布、活用した結果につい
ての共有や、今後の取組の方向性等につい
て検討しました。

（1）配布、活用した結果の共有について

【部会員の意見より】

- ・漫画なので家族も納得しやすく、主に認
知症家族の方に活用し、使い勝手のいい
ツールとなっている。
- ・漫画は分かりやすく良いとのアンケート
結果となった。
- ・リーフレットは好評であったが活用の場
面が少ないため、今後栄養士のHPに
掲載し広めていく。
- ・絵が良く親しみが持て、手に取りやす
くなっていると感想をもらった。
- ・職員会議で使用し、好評であった。
- ・地域包括支援センターとして民生児童委
員の会議で配布予定。
- ・市民向け講座で配布。「元気うちに考え
ておくことが大切だと思った」等の感想
をもらった。

→「自分の今後の人生について元気な時から
考えておくことの大切さ」をリーフレッ
トを通して伝えることができた。

（2）今後の取組（方向性）について

- ・リーフレットについては、市民向け講座
や各職能団体での配布を続け、広めてい
く。
- ・人生会議などを話し合う環境作りやき
っかけ作り、切り出し方について検討する
ことも必要ではないか。
- ・自分の死生観を深められる普及啓発とし
て、もしバナゲームを気軽にできる取組
を推進したらどうか。
- ・市民が望む生活のイメージを持てるよう
に、必要な取組について検討する。
- ・専門職側にも実際の支援例（好事例・悪
い事例）を活用した研修会等を開催し、
連携方法や看取り等について知ってもら
うことが大切である。

等の意見が出されました。

これらの意見を踏まえ、事務局で課題や
今後の方針（案）を修正、追加することに
しました。

○3年間を振り返り、各委員からの感想

- ・部会活動を通して、多職種同士顔の見え
る関係性作りができた。
- ・このメンバーで3年間やれたから、いい
リーフレットができた。自身の職能団体
で今後も広めていきたい。
- ・普段は個別ケース等のミクロの仕事だが、
今回の活動を通してマクロレベルでの支
援ができたと思う。

最後に記念撮影を行い、閉会しました。